

布野小 探究的な学習

令和7年10月

道の駅ゆめランド布野の升井さんからお話をうかがいました。布野のために、農業会社として白エンドウを地域の方に栽培してもらい、広めていきたいという思いを強くしました。

布野の野菜をブランド化したい。そのためにも、白エンドウを地域の人に栽培してもらい、布野といえば「白エンドウ」となることが夢だよ。

①農業会社「僕らの食べドキ野菜」では、季節の野菜を栽培→収穫→販売を通して、布野の野菜のおいしさを多くの人に知ってもらい、少しでも布野の良さを伝えたいと活動を進めました。

②サラダセットにして販売すれば、喜ばれるんじゃないかな。

③野菜の説明が書いてあれば、お客さんにも野菜のおいしさが伝わるかも。

栽培

販売

収穫

栽培

収穫

販売

販売

栽培

収穫

ぼくらは農業会社②（4年）

～白エンドウを布野ブランドにするために～

④校長先生にこれまでの活動報告とこれからしたいことをプレゼンしてアドバイスをしてもらおう。

やりたいことがたくさんあり過ぎるから、もう一度、自分たちの目的にもどって、やりたいことを整理した方がいいとアドバイスしてもらいました。

【課題の設定】 環境にやさしい野菜作りをしながら、白エンドウを栽培するファミリーを結成しよう！

【まとめ・表現】 地域の農家さんに、しっかり白エンドウのことを伝えよう。農家さんに受け取ってもらってうれしいな。次は白エンドウ収穫後の計画を立てていこう

⑤三原でも白エンドウについてインタビューしたよ。レシピを知りたいって言われていたよ。

【情報の収集/整理・分析】 環境にやさしい野菜づくりには肥料が必要。地域の方にコツを教えてもらって、実際に作ってみよう

⑥白エンドウの苗を育てて、地域の方に配って栽培してもらおう。

⑧地域の農家さんに直接白エンドウの苗を渡すことができた

【情報の収集/整理・分析】 白エンドウのオリジナル名とキャッチコピーを考えよう。地域の人に栽培したいと思ってもらうために必要な情報を選んでチラシを作って配ろう。

⑦中学校の先生にもアドバイスをもらいながら白エンドウのチラシができた！

⑥やっぱり栽培方法は必要だね。僕たちがブランド化を目指していることも書いた方がいいよ。